

並滝自然体験学習会 五感で楽しむ里山の12ヶ月

里山通信

第 77 号
2016.2



イチオシの止まり木
シジュウカラさんの好みでありますように

冬の間並滝でよく目にするのは、カラス、ヒヨドリ、並滝寺池で気持ちよさそうに動き回っているカモ等の渡り鳥ぐらいます。姿は見えないけどキツツキもいるようで、木を高速でつつく音が響きわたっています。ちなみに一秒間に二十回ぐらいの速さらしいです。二月に入ってから、シジュウカラやヤマガラをなみ滝藤原園内でよく見かけるようになりました。

シジュウカラさんがたくさん子どもを産んで毎年やって来てくれるよう、巣箱を五つ作って去年のものと掛け換えました。また炭焼窯を開けて先月焼いた炭の出来具合を確かめ、竹飛行機づくりの続きもしました。

鳥の巣箱づくり



大学生があらかじめ巣箱用に線引きしてくれた杉の板をノコで引いて、金槌で釘を打ちつけて巣箱を作りました。ワイヤーを通す穴をインパクトドライバーで開け、作った人の名前を書いて去年の巣箱と交換しました。去年の巣箱を開けると中は羽根布団。

炭焼窯開き



炭焼窯を移設してから初めての炭焼なので、ちゃんと炭になっているか心配していましたが、炭になってほっとしました。

今月の子料理



お昼ごはんは並滝カレー、コールスローサラダ、おやつはチョコマシュマロケーキを作りました。一部の人には教えたけど、カレーに入っていたのはイノシシだよ。カレーは完食だったけど、サラダはたくさん余りました。もっと野菜を食べようよ。



子ども里山レンジャー



くじら先生から「こども里山レンジャー」の認定書とバッジが贈られました。おめでとうございます。

竹飛行機づくり



今月は主翼作り。あらかじめ用意された主翼用の竹の表面を切り出しナイフでなめらかにし、2枚の翼を竹でつなぐための穴を開けました。つなぎ用の竹が穴に入るように切り出しナイフで先を細くするのは、ちょっと難しかったかな